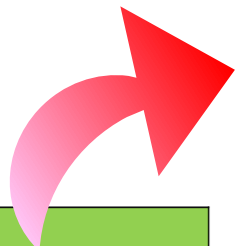


防衛計画の大綱 別表



区分	現在(25大綱)		
陸上自衛隊	編成定数 常備自衛官定員 即応予備自衛官員数		15万9千人 15万1千人 8千人
	基幹部隊	機動運用部隊	3個機動師団 4個機動旅団 1個機甲師団 1個空挺団 1個水陸機動団 1個ヘリコプター団
		地域配備部隊	5個師団 2個旅団
		地对艦誘導弾部隊	5個地对艦ミサイル連隊
		地对空誘導弾部隊	7個高射特科群／連隊
海上自衛隊	基幹部隊	護衛艦部隊	4個護衛隊群(8個護衛隊) 6個護衛隊
		潜水艦部隊 掃海部隊 哨戒機部隊	6個潜水隊 1個掃海隊群 9個航空隊
	主要装備	護衛艦 (イージス・システム搭載護衛艦)	54隻 (8隻)
		潜水艦 作戦用航空機	22隻 約170機
航空自衛隊	基幹部隊	航空警戒管制部隊	28個警戒隊 1個警戒航空隊(3個飛行隊)
		戦闘機部隊 空中給油・輸送部隊 航空輸送部隊 地对空誘導弾部隊	13個飛行隊 2個飛行隊 3個飛行隊 6個高射群
		主要装備	作戦用航空機 うち戦闘機

区分	将来(30大綱)		
共同の部隊	サイバー防衛部隊	1個防衛隊	
	海上輸送部隊	1個輸送群	
陸上自衛隊	編成定数 常備自衛官定員 即応予備自衛官員数		15万9千人 15万1千人 8千人
	基幹部隊	機動運用部隊	3個機動師団 4個機動旅団 1個機甲師団 1個空挺団 1個水陸機動団 1個ヘリコプター団
		地域配備部隊	5個師団 2個旅団
		地对艦誘導弾部隊	5個地对艦ミサイル連隊
		島嶼防衛用高速滑空弾部隊	2個高速滑空弾大隊
海上自衛隊	基幹部隊	地对空誘導弾部隊	7個高射特科群／連隊
		弾道ミサイル防衛部隊	2個弾道ミサイル防衛隊
	主要装備	水上艦艇部隊 うち護衛艦部隊 護衛艦・掃海艦艇部隊	4個群(8個隊) 2個群(13個隊)
		潜水艦部隊 哨戒機部隊	6個潜水隊 9個航空隊
		護衛艦 (イージス・システム搭載護衛艦) 潜水艦 哨戒艦	54隻 (8隻) 22隻 12隻
航空自衛隊	基幹部隊	作戦用航空機	約190機
		航空警戒管制部隊	28個警戒隊 1個警戒航空団(3個飛行隊)
		戦闘機部隊 空中給油・輸送部隊 航空輸送部隊 地对空誘導弾部隊 宇宙領域専門部隊	13個飛行隊 2個飛行隊 3個飛行隊 4個高射群(24個高射隊) 1個隊
	主要装備	無人機部隊	1個飛行隊
主要装備	作戦用航空機	約370機	
	うち戦闘機	約290機	

注1: 戦車及び火砲の現状(平成30年度末定数)の規模はそれぞれ約600両、約500両/門であるが、将来の規模はそれぞれ約300両、約300両/門とする。

注2: 上記の戦闘機部隊13個飛行隊は、STOVL機で構成される戦闘機部隊を含む。